

【緊急声明 「柳生心眼流」と当協会の立場について】

筋整流法は、私、小口昭宣が小林嘉一氏より学んだ腱引きを基礎とし、誰もが学べる療法として普及に努めてきたものです。

私が小林氏に初めてお会いしたのは、1985年（昭和60年）頃のことでした。当時、小林氏は「東北の柔術家からこの治療法を教わった」と話されていましたが、その由来について詳しく知る機会はありませんでした。

その後、2010年（平成22年）、出版企画をきっかけとして、BAB ジャパン様のご縁により、柳生心眼流の島津兼治先生とお会いする機会を得ました。このとき、私の手技をご覧になった島津先生は大変驚かれました。柳生心眼流において秘伝とされてきた技法に通じるものを、武術の門外漢であった私が用いていたためです。

柳生心眼流は、東北地方に伝わる古流武術であり、開祖・竹永隼人が柳生但馬守宗矩より「柳生」の名を授かったと伝えられています。島津先生は、「海外の方が聞けば驚くような由緒である。だからこそ、腱引きに関わる人たちにも心眼流について理解を深めてほしい」と、度々語られていました。

なお、これらの経緯については、月刊誌『秘伝』（2010年10月号）にも紹介されています。



「腱の位置を正す」という治療法は、実際に柳生氏の秘伝を伝承する、小口昭宣が柳生氏より学んだ秘伝の技法です。柳生氏から伝承された秘伝の技法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。柳生氏から伝承された秘伝の技法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。

筋整流法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。柳生氏から伝承された秘伝の技法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。筋整流法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。

筋整流法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。柳生氏から伝承された秘伝の技法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。筋整流法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。

目の当たりにした「一撃改善」の現場

幻の「腱引き療法」

筋整流法伝承会レポート

東北の古流柔術家が伝えたという幻の武術療法「腱引き」。この療法を新たに筋整流法として現代に伝える小口昭宣師の存在を小誌で紹介したところ、多くの注目が見られました。

そんな筋整流法の伝承会を今回はレポートする。柳生心眼流の秘伝を伝えるその会場でも、奇しくも「一撃改善」と呼ばれる腱引きの効果を目の当たりにすることになった。

取材：文田 雅雄 進行

腱引きの技術を伝える伝承会。5月20日、30日の二日間、東京新宿で「腱引き療法（筋整流法）」東京伝承会が行われた。この伝承会は5月に3日間、6月に3日間の伝承会を通して、筋整流法本師島津兼治師を目指す本格的なもので、年齢も職業もさまざまなお客さんが「腱引き」を学ぶために集まった。

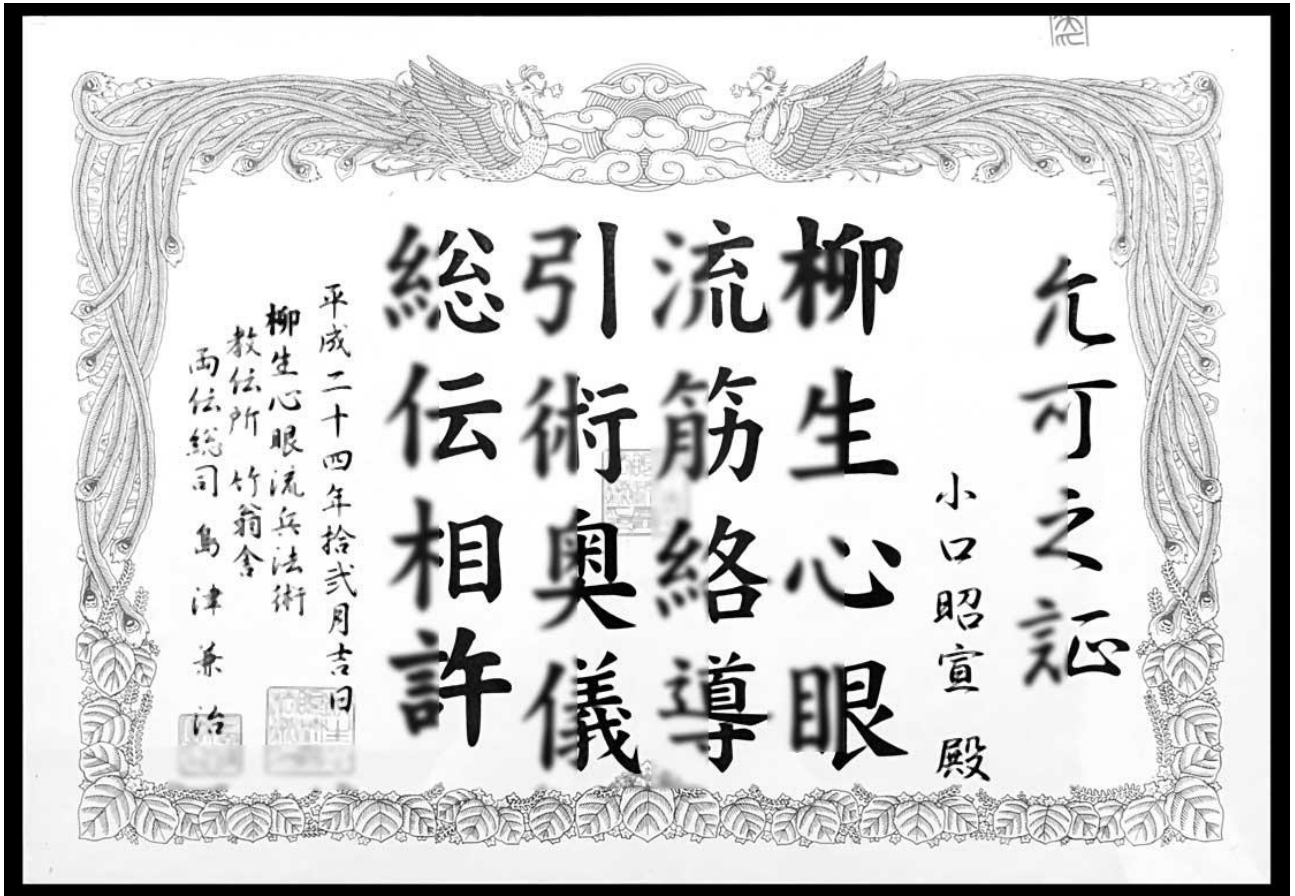
筋整流法は小口昭宣氏が自ら学んだ古流「腱引き」の技法を伝承し、医学や理学療法や理学療法に照らして再構築を行ったものだ。柳生心眼流の秘伝は、柳生氏から伝承された秘伝の技法です。柳生氏から伝承された秘伝の技法は、柳生心眼流の秘伝として知られています。

（出典：『秘伝』2010年10月号「幻の腱引き療法 筋整流法伝承会レポート」98頁）

技法の交流を重ねる中で、島津先生は筋整流法について「柳生心眼流の活法と共通する要素を持つ、同根の技法である」との見解を示してくださいました。武術家であり接骨師でもあった先生からのこの言葉は、私にとって大変ありがたいものでした。実際に『腱引き療法入門』（BAB ジャパン、2010年4月刊）には、島津先生より推薦文もいただい

おります。

その後も交流は続き、平成 24 年（2012 年）12 月 17 日、私は島津先生より活法および筋絡導引術に関して正式な印可状を受け、「柳生心眼流 活法伝 第二十代継承者」としての認定をいただきました。



（※印可状は模倣防止のため一部加工して掲載しております）

さらに、技術と文化を一代限りで終わらせることなく広く伝えていくため、2021 年 2 月、筋整流法の門下より三名を選び、「腱引き療法筋絡導引術伝承者」として認定いたしました。該当者は以下の通りです。

- ・三本菅章郎（いわき道場・理事）・嶋龍之（新宿道場・現副代表理事）・金澤潤一郎（旧大分道場・旧役員）

これらの認定は協会内部における継承として行われたものであり、退会した場合にはその時点で効力を失うものです。

しかしながら、その後の経緯により、2025 年に金澤潤一郎氏は当協会を離れることとなりました。同氏は在籍中より柳生心眼流筋絡導引術に関する称号・権限を有しておらず、同人が第三者に対して行った認定や允可には正統性はありません。また、退会に伴い、腱引き療法筋絡導引術に関する一切の称号・権限も失効しております。

また、朝倉榮蔵氏については、当協会より允可を受けた事実は一切なく、柳生心眼流活法に関するいかなる称号も正統性を有するものではありません。

柳生心眼流活法筋絡導引術は、第二十代継承者である小口昭宣が授かった最終の継承系統であり、古式腱引きを正統に再現できる者は、現時点において小口昭宣以外には存在しません。

また、これ以降に柳生心眼流および筋絡導引の名称を無断で使用する者の出現を防ぐため、「筋絡導引」は当協会の商標として登録しております。

正式な印可状なく伝統療法の伝承者を名乗ることは、歴史と伝統を持つ技法への敬意を欠く行為であり、認められるものではありません。独自の活動を行う場合は、新たな流派として発信すべきであり、あたかも柳生心眼流を名乗る行為そのものが、島津先生の偉業を汚す行為であることを、ここに明確にお知らせいたします。

本声明は、以上の背景および当協会の立場について、誤解を避けるために発信するものです。

なお、朝倉榮蔵氏の Facebook ページ等において言及されている不正アクセスや営業妨害について、当協会は一切関与しておりません。同氏によるこれらの主張は事実無根です。

また、同氏は当協会と理事が関与しているかのような記述を行っていますが、該当する措置は Meta 社が商標登録の事実を確認した上で独自に行ったものであり、当協会は関与しておりません。

さらに、かつて存在した「腱引き Facebook オンラインサロン」において、同氏は管理者の立場を利用し、実名と匿名を使い分けながら反協会的な扇動記事を投稿し、協会員に混乱を生じさせていた事実が確認されています。管理体制の移行に伴いこれらの事実は明らかとなっており、現在、証拠は保全済みです。今後、刑事告訴を含めた法的措置の準備を進めております。

関係各位におかれましては、同氏による虚偽の情報に惑わされることのないよう、十分ご注意ください。

当協会は今後も、小林嘉一師および島津兼治師より受け継いだ技術と精神を尊重し、「柳生心眼流活法筋絡導引術」改め「筋整流法活法筋絡導引術」として、その継承と発展に努めてまいります。

2026年4月15日

筋整流法協会最高顧問 小口昭宣